

安全・安心・快適な施設整備に加えて、多様なニーズに応えたまちづくりへ



氏名：高瀬 一希

入社年：1997年

出身学校：埼玉大学 工学部 建設工学科

所属：東京支店 まちづくり課

■現在の仕事内容

現在は、まちづくり課に所属し、プロジェクトマネージャーとして個々の業務管理及び推進と、新たな業務の受注に向けた技術営業を行うとともに、チームのまとめ役の立場にあります。

まちづくりに関する整備事業において、事業化に向けた調査や実現可能性検討から、都市計画決定、事業計画決定、基本・実施設計まで、あるいは補償や換地計画を含むものなど幅広いものであり、社内外の専門チームとタッグを組んで役割分担しつつ進めています。

■仕事のやりがい・エピソード

我々の仕事は、どのセクションであっても、関わったものがいつかは“まち”として目に見える形に出来上がります。公共性の高い施設整備が多いため、施設は不特定多数の様々な人に利用されます。自分の携わったものが、多くの人の手によって出来上がり、利用される、さらには喜ばれ感謝されることもあるのですから、素晴らしい達成感を味わうことが出来ます。

今では市民参加のまちづくりが一般的となり、基本構想段階から地元の方々にワークショップなどに参加いただくケースが多くなっています。従来の安全・安心・快適な・・・というだけでは必ずしも十分ではなく、より賑わいや利便性を追求するなど、多様な人の、多様なニーズに応えなければなりません。出来上がったときには、苦労した分だけ喜びがあり、達成感もひとしおです。

■この会社に決めた理由

IDEC は自らの社業を“まちづくりコンサルタント”と呼んでいます。これは施設整備系のハードと、コミュニティ系のソフト、どちらも総合的に関与して初めて“まちづくり”が出来ると考えているからです。私は学生時代には“まちづくり”に関わりたい、という茫洋とした目標しかなかったため、自分の仕事を早期に専門化したくない、という思いがありました。

自分がやりたいことは、やってみないと分からないこともあるだろうし、様々な分野を固定化せずに体験してみる、という意味では、セクションの分業化が進んだ大手の会社組織よりも、小規模でも総合コンサルとして多分野を身近に感じられる IDEC を選びました。都市計画、交通計画で先進的な取り組みをしていることも一つの理由でした。

■学生へのメッセージ

今の“まちづくり”都市計画コンサルタントは、専門性はもちろんのこと、多様な関係者（行政や事業主体、地域住民、管理者など）の間をとりもつための柔軟性や多様性、コミュニケーション力など、実に様々な役割を求められます。

色々なことを経験してみて、自分の可能性を拓きたいという方、“まちづくり”という難題と一緒に取り組みましょう。心よりお待ちしております。



▲ワークショップでの話し合い